

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。  
金木犀が香りたち、曼殊沙華の赤も鮮やかな季節。いかがお過ごしでしょうか。  
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、  
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。  
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、  
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1. プロから学ぶ！オーガニック家庭菜園講座報告
2. GO GO やさいバス！加藤百合子さん講演会のお知らせ

■ | ■ プロから学ぶ！オーガニック家庭菜園講座報告

9月は、かしはらオーガニック主催で講座を2つ開催しました。ひとつは、農業  
者向けの「BLOF 野菜の中級講座」。もうひとつは、一般向けの「プロから学ぶ！  
オーガニック家庭菜園講座」。今回はこちらの報告をお送りします。

新型コロナウイルス蔓延に伴う外出自粛や、世界情勢を背景とした食糧難への危  
機感から、自分の手で食べものを育てたい、できればオーガニックでの栽培に挑  
戦してみたいという人が増えています。そのような家庭菜園初心者に向けて、分  
かりやすく有機栽培の基礎を教えていただく講座を9月28日（水）に開催しまし  
た。講師は、ひらかた独歩ふぁーむ代表の大島哲平さん。大島さんは、2011年と  
くしま有機農業サポートセンター第1期生としてBLOF理論を学び、2015年に穂  
谷地域で独立就農。現在は約2町歩の畑で、ハウスの軟弱野菜と露地のイタリア  
ントマトを主に、有機農業で多種多様な作物を栽培されています。

「有機栽培」の対義語ってなんですか。一般的にはそれは「慣行栽培」です。  
つまり、普通の栽培方法、多くの人が行っている栽培方法、それはつまり病気や  
虫や雑草など、なにか問題が起こったときに薬に頼ることができる栽培です。そ  
れに対して、有機栽培は、農薬・化学肥料は使わない、遺伝子組み換え種子も使  
わないなど、慣行栽培に比べて自らできることを「制限」する栽培方法なので、  
比べると難しくなります。さらに自然栽培や不耕起栽培など、「制限」を増やすと

どんどん難しくなっています。

「難しい」というのは、よりその植物に寄り添った管理が必要という意味であり、薬に頼らなくて済むように体力をつける、つまり丈夫な野菜をつくる必要があるという意味です。そのための下準備として、土づくりがとても大切になってきます。土壌微生物がたくさん生息し、空気と水をしっかり含むことのできるふかふかの土をつくるのに、農薬や化学肥料は向きません。長い目で見て植物や自然の摂理に則って持続可能な栽培しようとする、その方法として有機栽培が一番適しているということになるのです。

家庭菜園は、プロの農家の栽培とは違って失敗が許されます。「正直、野菜がほしいだけだったら、スーパーで買うのがいちばんコスパはいい。でも、土に触れる、植物の成長を見るという体験、自分で食べるものを自分で作るという経験、試行錯誤する中でいろいろなことを考え、知るそのすべてにお金では買えない価値があると思うから家庭菜園に挑戦するのでしょうか。それなら、その豊かな時間をしっかりと楽しみましょう。失敗して当たり前、失敗も楽しむという気持ちでやると、しんどくならず長続きすると思います」というのが大島さんの提案です。

半農半Xという概念を塩見直紀さんが提唱されはじめたのが約30年前。消費者がただ消費するだけでなく、少しでも生産に携わる重要性はますます高まっています。おいしい&楽しいオーガニックの輪を家庭菜園からも広げていけたらと思っています。

---

## ■ 2 ■ GO GO やさいバス！加藤百合子さん講演会のお知らせ

---

やさいバスとは、直売所や道の駅などをバス停に設定し、「やさいバス」と名付けた冷蔵車が巡回する青果流通の仕組み。農家が出荷した品物を、使う人（レストランなど）はその日のうちに受けとれる、生産者も購買者もどっちもうれしい仕組みです。そんなやさいバスをはじめた加藤百合子さんにお話をうかがい、奈良の産直野菜をもっと広げるヒントをいただきます。

日時：2022年10月11日（火）13:00～14:30

場所：コープ自然派奈良事務所&オンライン ※講師オンライン

講師：加藤百合子さん（株）エムスクエア・ラボ 代表取締役

申込・問合せ

コープ自然派奈良 メール eventnara@shizenha.co.jp

農民連・奈良産直センター TEL：0744-54-2966 / FAX：0744-54-2967